

We went to CANADA to meet my friends.

(友人たちに会いにカナダへ行って来ました) ~第0章(ハプニング)~

No.37 鷺海拓也

4月3日(月曜日)

突然、カナダの友人のカイラより、現在、斑鳩(奈良県)の一軒家を二家族で借りて、2週間ほど日本に滞在していると連絡があった。福岡市内に来るとの事で、彼女の家族と友人家族(大人4名と子供3名)の「観光案内」をする事になった。彼女とは21年ぶりの再会である。

豚骨ラーメンの昼食から始まり、櫛田神社、福岡市科学館など案内後、夕食は「居酒屋」に行く事になった。会食を楽しんだ後に「割り勘にしよう」と言うと最初、パブロ(カイラの夫)が5ドル札を2枚、私に手渡した。その後「今回はお世話になったので私達が食事代を支払う」と言うので、その「カナダ紙幣」を返そうとすると「戻さなくて良いからカナダで使ってくれ」と言う。そう、今回の旅はこの2枚の5ドル札から始まったのだ。

今思えば、粹な「招待」であった。彼女の住んでいるオタワではすごくお世話になった。

カナダに行くなら、23年前にホームステイをしたジニーの両親に是非、会いたい。私の母が昨年末より歩行障害、認知障害、排尿障害が重なって今年2月より施設にお世話になっている。

両親がお元気なうち(現在もサンダーベイからバンクーバーまでの3,000kmの道程を5日間かけて車を運転してくる)にと強く思った。

せっかくだから、日本に滞在中(21年前)と一緒にトライアスロンをしていたメアリー(トロント在住)、カイラ(オタワ在住)、ジニー(バンクーバー島在住)3人に会えるように計画を立てる。

前回は、「ツアー会社」にすべての予約(飛行機、宿など)をしてもらったが、今回はすべて自分で予約したので波乱万丈の旅となった。「観光案内」は画像を後で投稿するので、実際の起こったハプニングを通して「旅行体験」をして頂ければと思う……。

7月16日(土曜日)

① 福岡~成田

LCC(※)の「ジェットスター」初めての利用である。少しでも「旅費」を節約したい。「予約番号(6桁)」を装置に打ち込めばチェックインが出来るはず。本人は、隣の「ピーチエアー」の装置にその番号を打ち込んでいて、受付が出来ずに焦っていた。家内の冷静な判断で気が付く。先が思いやられる。昭和生まれは、「搭乗券」などのアナログが手元に無ければ不安なのである。(※)LCC = Low Cost Carrier(格安航空会社)

② 成田~トロント

無事に、正午過ぎに成田に到着。昼食を先に済ませようとする。マイレージの関係で「AN

A(全日空)」を通して「エアカナダ」を予約している。しかし、食事中に「エアカナダ」からメールが入る。搭乗4時間前。早く「チェックイン」手続きをせよとの事だった(※)。

(※) 今回のすべての航空機は、「搭乗時間」の24時間前になったらその「ウェブサイト」に行って、先に「チェックイン」手続きをしなければならない。「予約番号」を打ち込んで、自分のスマホに「QRコード」を送ってもらって、空港にてその「QRコード」を装置にスキャンさせなければならない。預ける荷物のタグも、自分で発行させて荷物に取り付けて渡さなければならない……。

さて、最大の山場の12時間の「搭乗時間」。遅く手続したせいなのか座席は「窓側」。気圧の関係なのか腹部に膨張感があり、よく眠れない。機内食の2食目のヌードルは口に合わなかったので家内と一緒に残す。やっと「ピアソン国際空港(トロント)」に到着したが良いが、今度は預けたバッグが出てこない。何と2時間半も待たされてしまった。

その後、市内へ「直通列車」にて移動(25分)。駅からは徒歩にて10分ほどで到着の予定だったが、今度は宿泊先の「コンドミニウム」が見つからない。「グーグルアース」で確認していた場所付近の「ハンバーガーショップ」の店員に聞くが知らないとの事。

周囲を見渡すがそれらしき看板の建物は無い。そこら辺の人にも尋ねるがわからない。

結局、スマホの地図の位置情報を利用して、最初に尋ねた場所の建物が目的場所と分かった。駅を出て、約1時間後にようやく部屋に到着出来た。

疲れ果てて夕食に出る元気もなく、ホテルの前の「ブルージェイズ」の本拠地の野球場の「ホットドッグ」屋台でホットドッグと一緒にビール(※)を購入して部屋に戻った。

(※) 屋台のおじちゃんに何度も確認するが「ルートビア」が本物のビールだと言う。私の記憶だとこれは「禁酒法時代」に「木の根(ルート)」を使って作った「ジュース」である。部屋で家内と「乾杯」すると、やはり甘い「ジュース」であった(涙)。

